

技術系女子学生の継続的なキャリアデザイン

ライフサイクルを視野に入れた支援プログラムの構築



JCD

<http://hirokoudai.jp/jcd/>

プログラムの目的と5つの効果

「ものづくり」立国として世界をリードしていたわが国ですが、少子高齢化に伴う出産人口の減少、及び昨今の若者の理系離れで、その立場があやうくなってきています。

一方、女性の社会進出により、これまで男性が担当していた業務を女性が担当する時代になりつつあります。このような背景を踏まえ、広島工業大学女子学生キャリアデザインセンター（JCDセンター）では、社会ニーズに応えられる、高い志を持った多くの女性技術者を世に輩出することを目的としています。



1. モチベーションの維持・向上

入学時の技術系の職に就く夢を持ち続け、達成してもらうために、JCDセンターでは、様々な企画運営を学生に託し、自ら行動させることで成長させ、潜在的能力を顕在化させることを試んでいます。その上で、女性技術者特有のスキルの習得、女性技術者を受け入れる就業環境の整備に関する提案などにより、女子学生の就業意欲を維持向上させていきます。

2. 技術者としての素養を身につける

女子学生と企業人や市民との「ものづくり」を協働させることで、女性技術者として働くことの「志（こころざし）」を持たせ、判断力・リーダーシップを有した「自ら考え判断して行動できる」人間へと成長させます。また、女子学生一人ひとりの適性とスキルを評価した進路指導を行うとともに、女性技術者としての特別教育プログラムを構築し実践します。

3. 就職に際してのミスマッチと早期離職の防止

社会で活躍している女性トップランナー、技術者、また本学卒業生などとの交流を図ることで、個々人の秘めたる能力を引き出す環境を形成します。それぞれが持つ能力と感性を適正評価して進路指導することで、就業上のミスマッチや早期離職を少なくすることができると考えます。

4. 就業環境について考える

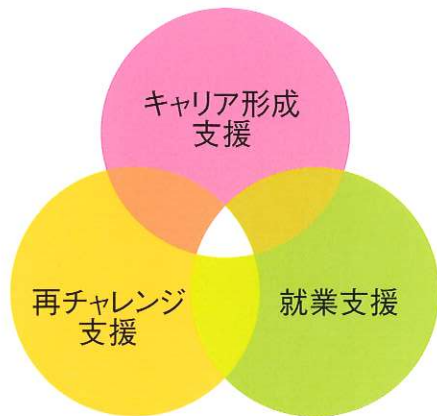
女子学生、女性技術者に対して、彼女たちが望むべき就業環境に関する意識を調査し、これに基づいて「望ましい就業環境」を策定し社会に提案していきます。このことは、就業環境の変化と女性技術者の勤務意欲を向上させることにつながっていきます。

5. 埋もれていた人材の発掘

結婚・出産などで離職を余儀なくされていた卒業生の就業意欲と保有するスキルなどを調査して、人材バンクを構築します。就業可能となった者には、スキルの再教育を実施した上で再就職へとつなげていきます。埋もれていた優秀な女性技術者を世に輩出することにより、企業の人材要求に応えることが可能となります。

プログラムの概要

キャリア形成支援	学外活動	企業人や市民との「ものづくり交流」により、働くことの意義と誇りを持つことができます。その結果、女性技術者としての志がめばえ、安易な離職意識を持たなくなります。
	JCDセンター企画セミナー	社会で活躍している女性トップランナー、技術者、また本学卒業生たちの講演会を実施することにより、女子学生の潜在的能力を顕在化させることができます。
	学生自主企画セミナー	女子新入生の歓迎会やサマーセミナー(1泊2日)を自ら企画立案し、また女子学生を編集者として「JCD PRESS」を発刊することで、キャリアアップを図ります。上級生が下級生を指揮指導することによる相乗効果も期待できます。



就業支援	女性技術者に対する企業の開拓	女性技術者の受け入れ環境を整備した企業を広域的に開拓するために、企業懇談会を実施します。
	個人のスキルを考慮した就職指導	女子学生個々人の適性とスキルを評価した就職指導を行うとともに、女性技術者としての特別教育講習を実施します。
	就業環境の提案	女子学生及び女性技術者の意識調査に基づく望ましい就業環境を策定して、社会に提案します。

再チャレンジ支援	卒業生のキャリアパス調査	結婚・出産などにより離職を余儀なくされた卒業生の再チャレンジを支援します。再就職を希望する卒業生のキャリアパスを調査し、人材バンクを構築します。
	受け入れ企業の開拓	カムバック制度導入を働きかけ、再チャレンジ希望者の就業の場を確保していきます。
	スキルの再教育	「学べる環境」から一時距離を置いた技術者に再教育を施す現場は少ないのが現状です。JCDセンターでは、再チャレンジを希望する卒業生の教育プログラムを構築し、社会ニーズに沿った再教育を実施します。



平成19年度 文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に採択されました

選定理由

広島工業大学においては、学生支援に関する目標に基づき、女子学生就職率の過去の推移(全国平均×本学平均)を捉えながら、入学後のモチベーションの低下に対する改善を目指しており、女子学生キャリアデザインセンター等での成果が見られます。今回申請のあった「技術系女子学生の継

続的なキャリアデザイン」の取組は、就職率を上げ、また、早期離職を防止し、卒業後の再チャレンジ支援に取り組むものですが、特に、女性技術者を受け入れる社会環境の構築を導くまで、それぞれ支援のプロセスが明確であり、他に見られない工夫ある取組であるとと言えます。特に、女子学生支援拠点と

して、女子学生キャリアデザインセンターの創設と実質化を図る取組にあっては、当該学生が潜在的にキャリア形成上問題を抱えているとの想定に立って対応しているとともに、継続的なプログラムを立案していることは、他の大学等の参考となる優れた取組であると言えます。(原文)

●プログラムの改善・評価

本プログラムは、毎年、右に示したフローにより改善・評価を繰り返し実施します。

1 女子学生に対するアンケート調査の実施

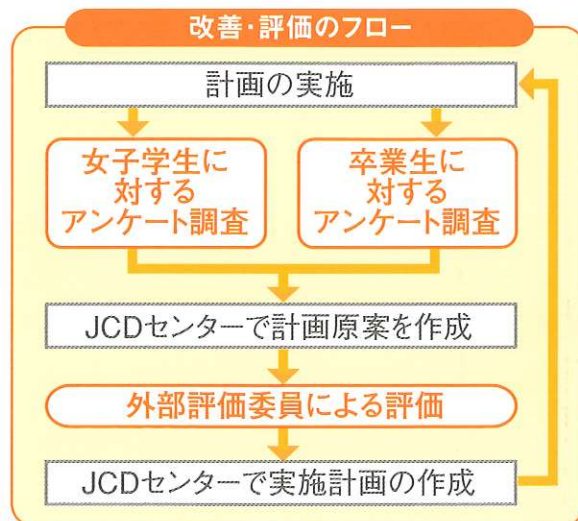
「一年でどのようにキャリアアップしたか？」目標に対する達成度を問うこととあわせ、次年度のキャリアアップに向けた目標を設定させます。

2 卒業生に対するアンケート調査の実施

在学中に受けた本学の教育、就業支援について評価し、女性技術者として望ましく教育について、及び再チャレンジ支援に関する要望について調査を実施します。

3 外部評価委員による評価

女子学生、卒業生へのアンケート調査を踏まえて次年度の計画原案を作成し、それに対して外部評価委員（第一線で活躍する経営者、技術者）による評価を実施します。それに基づき計画案の改善を実施して、具体的な実施計画を作成します。



●プログラムの実施計画

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	女性技術者として、働くことのモチベーションを維持・向上する	働くことの意義と誇りを持たせ、技術者としての素養を継続的に身につけることの必要性を理解し実行する	ライフプランニングを視野にいたれた女性技術者としての就業環境を理解し、望ましい就業環境について考える	3年間の成果を踏まえ全体的な見直しを行う
キャリア支援	講演会 (OG、女性技術者、女性トップランナー) 「JCD PRESS」の発刊	新入生歓迎セミナー、サマーセミナー 学外活動		
就業支援	企業懇談会 企業の開拓 女性技術者の特別教育講習	就業環境の調査	就業環境に関する調査研究	就業環境の提案
再チャレンジ支援	再就職受入企業の調査	再教育用e-ラーニングシステムの構築 卒業生のキャリアパス調査	再教育用e-ラーニングシステムの改善整備	再教育用e-ラーニングシステムの運用 人材バンクの構築
共通事業	評価アンケート	シンポジウム		報告書の作成
	外部顧問との意見交換会 成果の公表 調査の実施			

●将来性

本プログラムによる女性技術者としての特別教育講習を正課授業へ取り入れていきます。これにより、女性特有の感性を助長させる教育システムへと発展させ、高い志を持った多くの女性技術者を世に輩出し、社会のニーズに応えられる状況の構築に結びつけます。

広島工業大学
女子学生キャリアデザインセンター
<http://hirokoudai.jp/jcd/>

広島市佐伯区三宅2丁目1番1号 広島工業大学 本館3F
jcd@it-hiroshima.ac.jp
TEL (082) 921-7436 FAX (082) 921-7437